



人類に
奉仕する
ロータリー

パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で、奉仕の理想を実現しよう!

パワー浜松ロータリークラブ (2016-17年度 会長: 近藤 雅彦 幹事: 田淵 邦彦)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第636回例会 8月 2日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 松本好司 森俊彦 山下俊彦
- 点鐘: 近藤 雅彦
- ゲスト: 樹木医 正木伸之様
- 議事: 夢計画担当部会「松で育てる まちづくり」について

〈出席報告〉

会員数 79名(内 出席免除会員1名)
出席数 64名 出席率 82.05%

前々回出席率 83.33%

■会長挨拶



地区の補助事業は今年 100 周年を迎えるロータリー財団の基金を使用して各地のロータリーの奉仕活動を支援することが目的で、2つの補助事業があります。一つはグローバル補助金と言われるもので、比較的事業規模の大きい事業を対象にしており、発展途上国の支援を主な目的にした事業です。

もう一つは地区補助金と呼ばれるもので、各ロータリーの奉仕活動の事業費の一部を補助するというもので、私たちの地区ではこの補助金を夢計画と言っています。本年度、我がクラブの夢計画の事業は「松で育てる街づくり」というテーマで 15 周年の記念事業の一環として開催しようと考えております。その概要について本日の例会で説明して頂くことと思います。

私自身、15 周年の事業そしてこの夢計画の事業というのはなかなか見えていないというのが実感ですが、是非、メンバーの皆さん方と一緒に作り上げていきたいと考えおります。皆様のご協力をお願いしまして会長挨拶とさせていただきます。

■幹事報告

レターケースに入っている資料は、ガバナー月信が 2つ入っています。今月のビュー広場のテーマは、「オリンピックの思い出」です。

■委員会報告

社会奉仕委員会 藤田さん

8月24日 堆砂垣作りと中田島清掃があります。中ロータリーとの共同となります。

ゴルフ同好会 村田さん

9月22日 浜松ロータリークラブ主催で行われます。

■スマイル

近藤雅彦会長・田淵邦彦幹事

日本樹木医会静岡支部長 正木伸之様

本日は早朝より当クラブにお越し頂き、誠にありがとうございました。本年度の夢計画「松で育てるまちづくり」の事業に置いて、当クラブのアドバイザーとして、お引き受け頂きましてお礼申し上げます。私達松を学び、地域の貢献に繋がる様、事業を進めていきます。今後、正木先生のご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。

伊藤勝人さん

7月30、31日に浜名湖カジキ釣り大会が行われました。30日は、ホージロ鮫を悪戦苦闘の末ゲットしました。31日は、念願のカジキ104kgを1時間30分かけて、釣り上げました。カジキ釣りの先輩、後藤さん今後ともよろしくお願いします。

坂井光蔵さん

7月23日に浜信植松支店のコンペが、よみうりカントリーで行われました。ショットが気持ちよく決まって36:38の74、2オーバーで今年2勝目をゲットしました。神さんにドラゴン、ニアピン優勝賞品を渡しましたが、ついにスコアを聞かれることはありませんでした。25日も富嶽カントリーでコンペがありましたが、

2オーバー期待でのぞみましたが、96とトホホでした。

匿名希望

猛暑日になりそうなのでスマイルです。

■議事



夢計画担当部会 山崎さん

正木先生にご挨拶をお願いします。

松については先に話しましたが、松にこだわっているわけではありません。しかし、色々な植物に触れていると松に行き着くわけです。^{ほんそうがく}本草学という学問があり、松のヤニが体に良いとか色々あります。海岸に植える植物も松が良いとなりました。山にも海にも松が生えているという良い訳ですが、次第に減ってきています。その為に弊害が起きています。山崩れなど要因にもなっています。どこの大学でもそのような事を教える所が無くなってきています。このような機会を作っていただいた事を感謝しています。



事業説明 龍谷さん

今年度は、松を主体として活動をきっかけとして、文化、産業、観光、自然、食などの地域の資源の掘り起こしをします。

1 資料参考

中間支援活動をして学校や企業、行政など希薄になっている絆を再生し繋げる。

2つの事業案

近藤会長の意向もあり、15周年の記念事業の一環として開催しようと考えております。

1 松の植栽事業

2 松の記念樹事業

担当部会の連携表の説明

この2つの事業を担当部会が調整していきます。

私自身は、植物の造詣がなくこの活動で学んでいます。ある先輩に「仕事は、その人がいなくても継続して残る事が大切だ。」と言われました。この事業は、パワーを離れる事があっても「松は残った」となれば良いと思います。



松の植栽事業 小澤さん

当社の名は「松川電気」です。なぜ、米山記念部会なのかは、本年度は交流生徒の受け入れがないので、サボらすなという事かと思えます。市も推進している事業ですが、とにかく防潮堤に松を植えるという事です。津波の被害を軽減する、砂丘の保護、生物の保護など、もう一度浜松の良い所を守ろうという事です。先日も社員と奨学生と共に植えてきました。鈴木市長も招いてやりましたが、正木先生から植えるにふさわしくない時期と言われました。パワーがやる時は、小学生も障がい者も招いて一緒に植えたいと思います。松は植えて必ず間引きをして、元気な松を残し育てる事が大切。松で育てるまちづくりが大切な部分です。全員参加でやっていく事が大切だと思います。一番大切な事は、自分たちが率先して汗を流していく事が大切だと思います。1年で終わる訳ではなく、30年事業です。資金の面もお願いする事も出てくるかと思えます。よろしくをお願いします。



東小学校植樹事業について 高貝さん

東小学校卒業の方もいます。当時元城小学校から独立して、今年度100周年という相応しい事業かと思えます。現在、パワーの縁でPTA会長をやっています。それまではあまり学校に行く事はありませんでした。子供を中心に地域の人の交流の場ともなっています。なぜ東小学校かと言うと、校歌の中に「ザザンザ、ザザンザ」という表現があり、これは松の風を切る音だそうです。日本には自然と密接に繋がって生きてきた歴史があるという事です。「曳馬拾遺」という、浜松の地名の由来やエピソードをまとめた本の中には「ザザンザの松とは…」という1節がありました。昔はここにザザンザの松が生えていた、という碑があったと言われています。その登記簿をとって見ると確かに「ザザンザの松」という表記がありました。小学校では、正木先生と植える場所も見てきました。毎年、そこで写真を撮る計画もあるそうです。松の成長の写真も残ります。5月に予定しています。よろしくお願いします。



西尾委員長

松への思いをそれぞれ語っていただきましたが、浜松の人には染み付いていると思います。今後意識してもら

と浜松の地を思う題材になっている事がわかります。以前、学生と地域資源について1年調べました。すると多くの資源がある事がわかりましたが、浜松はあまり活用していないと思います。食に関しては、うなぎから玉ねぎ、最近では餃子、浜松の人は新しい物が好きでこれらを大切にしない傾向があります。高度成長期とは違うあり方が求められています。パワーがこれをきっかけにして、浜松の人が継続的にこれらに関われればと思っています。よろしくお願いします。

